

埼玉県ナース赤十字奉仕団

県外研修会

今回は日本赤十字社茨城県支部と水戸赤十字病院を訪問してきました。

茨城県支部では、「日本赤十字社茨城県支部看護奉仕団」と交流を行い、お互いの団活動について報告や情報交換、意見交換をすることで、他県の奉仕団と顔の見える関係作りができました。

水戸赤十字病院では、災害に備えての設備や備蓄倉庫、ヘリポートなどを見学しました。水戸赤十字病院は、茨城県の基幹災害医療センターなので、各種設備が充実しており、とても勉強になりました。

奉仕団交流会にご協力いただいた茨城県支部の皆様、施設見学にご協力いただいた水戸赤十字病院の皆様、ありがとうございました。



日本赤十字社茨城県支部看護奉仕団との集合写真



水戸赤十字病院のヘリポート見学



ハイゼックスでカレーとご飯を作っています



ポリ袋(ハイゼックス)で作った蒸しパン

松伏町赤十字奉仕団

～奉仕団主催で非常食体験講習会を開催しました～

平成26年1月12日(日)に松伏町もみじ公園を会場に、地域の住民を対象とした「住民参加型講習会」を企画・開催しました。

講習会では、災害時の備えとして、ハイゼックスを使用しての「災害時非常食カレーライス」や「蒸しパン」の作り方を教えながら、実際に参加した方々に自分で作ったカレーなどを食べていただきました。

非常食の作り方を通して奉仕団を身近に感じられるよう工夫するとともに赤十字PR資材のチラシとティッシュを配り、赤十字活動の広報と団員募集を行いました。

松伏町は昨年の9月2日に発生した竜巻災害の被災地の一つであり、参加者のご理解のもと、いただいたカレー代金については町内被災者への義援金として松伏町に寄付しました。

春日部市赤十字奉仕団

春日部市総合体育館(ウイング・ハット春日部)で春日部市社会福祉協議会主催の平成25年度「市民福祉まつり・第28回ふれあい広場」に春日部市赤十字奉仕団として参加しました。

会場では、団員がいくつかの班に別れ、とん汁や手作りのアクセサリなどの販売や義援金の呼びかけを行いました。

奉仕団の作るとん汁は「とてもおいしいネ…ママおかわり…」など、ほのぼのとした光景も見られ、大盛況の中早々と完売となりました。

今回の売上金の一部やご協力いただいた義援金は、東日本大震災義援金として埼玉県支部へ寄付いたしました。



義援金募集の様子



盛況だったとん汁販売

奉仕団紹介

埼玉県ナース赤十字奉仕団

埼玉県ナース赤十字奉仕団は、昭和61年5月31日に創立した、病院退職後に看護師資格を活かしての救護ボランティアを主な活動とした特殊奉仕団です。

主な活動は、中学・高校の体育連盟主催のスポーツ大会や各種イベント・行政が主催する各種行事・高齢者や福祉関係の各種イベントに設置される臨時救護所での救護活動ボランティアや、赤十字のPRイベントである「一日赤十字」での健康相談や血圧測定など、各種行事に団を上げて協力しています。

救護員として現場に行きますと大変な事もありますが、学校関係のスポーツ大会では、生徒たちの元気ではつらつとした姿に元気をもらうことができ、とても充実した活動をしています。

また、定期的に行う団員研修では、AEDを用いた心肺蘇生法、三角巾を用いた固定法、外傷への対処法、こころのケアなどを学び、いざという時に素早く対応できるよう自己研鑽に励んでいます。

私達は、医療の第一線は退きましたが、少しでも何か社会の役に立ちたいという気持ちで日々活動しております。これからも団員の輪を広げ、元気に活動していきたいと思ひます。



ナース赤十字奉仕団団員の皆さん

64回生の卒業式を迎えて

さいたま赤十字看護専門学校

平成26年3月3日、多数の御来賓、病院関係者や保護者の臨席のもと卒業式が行われました。卒業式では「帽子」と「赤十字救護服」を着用します。

64回生は成人式の日も雪、災害救護訓練の日も大雨、そして看護師国家試験の日も大雪の後というように悉く天候には恵まれていませんでしたが、当日は雨や雪に見舞われることなく無事に卒業式が始まりました。

この学生たちは、東日本大震災後に入学してきており、何かをしなければと言う気持ちがあり、赤十字の看護学校に入学してきました。災害救護訓練に1年次から被災者役として参加し、3年次には救護員としての訓練を実施して災害看護の基礎を学んでいます。赤十字が活躍する姿をDVDで見たり、講話を聴いたりして、いずれは災害現場で活動してみたいと気持ちを強くしています。

臨床では患者さんと出会い、看護する喜びを教わりました。どう関わったらいいのかと悩みながらスタートした学生も実習を経て患者さんに寄り添えるようになりました。答辞では3年間のつらかったことうれしかったことが走馬灯のようによみがえり、涙していました。多くの皆様に支えられ卒業を迎えることになりました。

卒業後はそれぞれの施設に旅立って行きます。卒業は新たな生活の始まりで、決意を新たにがんばっていきますので応援よろしくお願いします。



赤十字救護服を着用した卒業生



卒業を迎えた看護学生